

大会名称: 第12回全日本社会人バスケットボール選手権大会  
兼 第92回天皇杯・第83回皇后杯 全日本総合バスケットボール選手権大会予選

開催場所: ジップアリーナ岡山 Bコート

試合区分: No. 29 男子 決勝

期 日: 2016(H28)年11月6日(日)

主審: 谷地 温

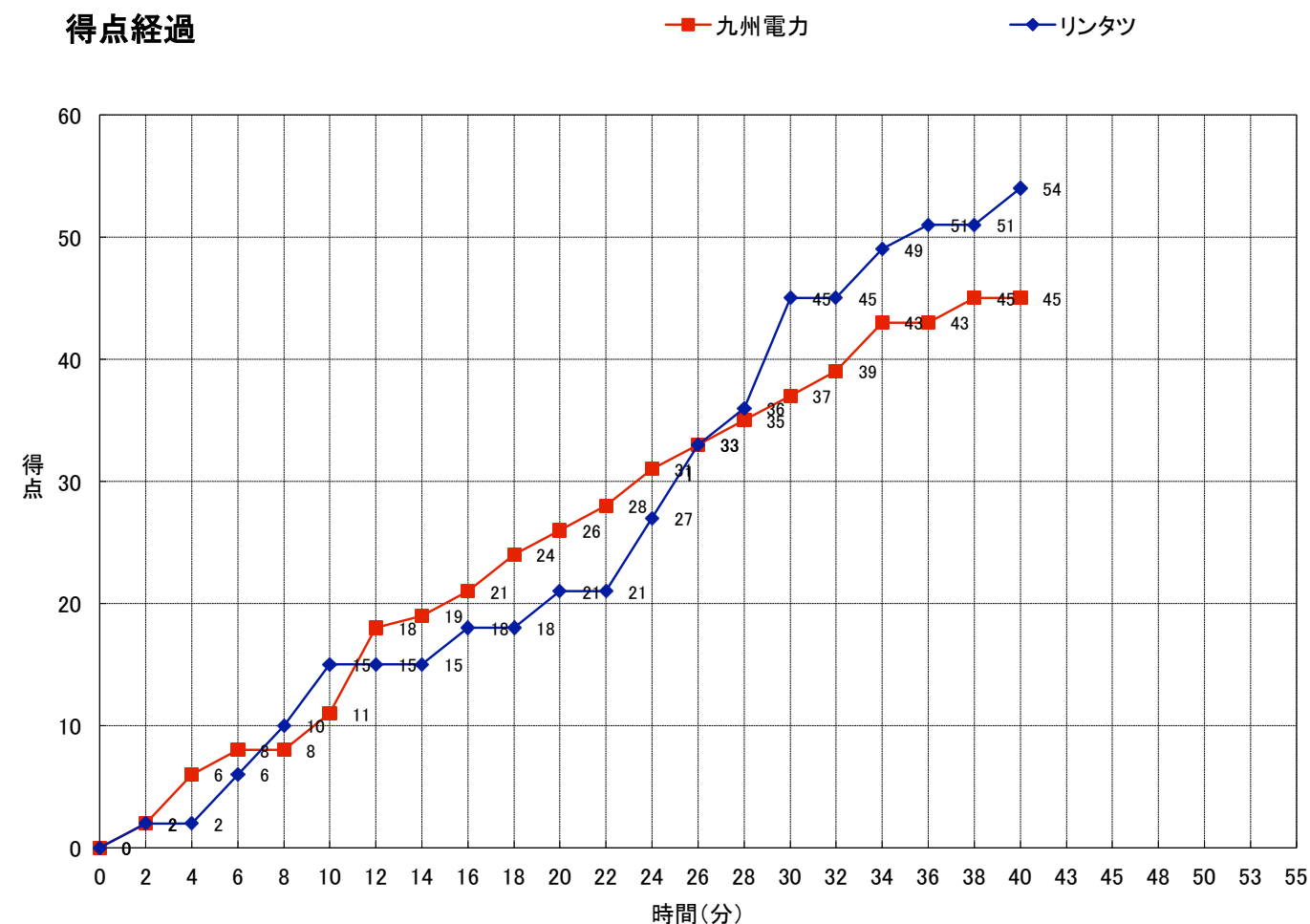
開始時間: 14:40

副審: 中田 英教: 岩田 友幸

リントツ						○		●						九州電力					
(実3・東海)						54		45						(実1・九州)					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F				
3	*	石附 大真	0	0	0	0	1	4		松谷 直人	-	-	-	-	-				
9	*	出口 凌大	2	0	1	0	3	8		岡 隆輔	-	-	-	-	-				
13		北村 正人	0	0	0	0	0	9	*	田中 喜陽	8	0	4	0	2				
19	*	中野 高紳	18	1	6	3	1	12	*	織田 秀司	3	0	1	1	2				
21		松岡 大騎	-	-	-	-	-	16		村瀬 敦希	6	2	0	0	2				
24		田口 昂大	5	1	1	0	1	21		毛利 孝志	6	1	1	1	2				
32		松元 一総	12	1	4	1	4	22	*	伊集 貴也	6	1	1	1	5				
33	*	八木橋 澄人	2	0	1	0	2	24	*	中深迫 諒太	2	0	1	0	1				
55	*	三島 大知	11	0	5	1	3	25		森岡 裕大	-	-	-	-	-				
56		戸次 恭亮	4	0	2	0	0	30		吉満 俊孝	-	-	-	-	-				
								33		横山 優王	0	0	0	0	1				
								35		熊谷 駿	-	-	-	-	-				
								40		赤星 雄平	0	0	0	0	2				
								45		根岸 豪	-	-	-	-	-				
								47		藤田 弘道	-	-	-	-	-				
								91	*	酒井 祐典	14	0	6	2	1				
		/ TEAM								/ TEAM									
		合計	54	3	20	5	15			合計	45	4	14	5	18				

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル

得点経過



ゲームレポート

1P: 九州電力、リントツともにマンツーマンディフェンスでスタート。開始1分、リントツ#19中野のミドルシュートでゲームが動く。九州電力も#9田中のゴール下のシュートですかさず追いつく。その後、お互い厳しいディフェンスが続く。流れは次第に九州電力に傾き、#91酒井のドライブで突き放しにかかる。一方、リントツは#32松元を投入後、すぐさまシュートを決め、食らいつく。さらには、残り2秒#24田口の3ポイントが入り、15-11でリントツがリードして終了する。

2P: 開始リントツの厳しいディフェンスでしのぐも九州電力#21毛利が3ポイントを決め、その後、#40赤星のディフェンスからスティール、#91酒井が決め逆転。さらに連続得点を決め、たまたまリントツはタイムアウトをとる。なかなかリズムにのれないリントツ、5分間ノーゴールが続く。さらに九州電力は#9田中のインサイドプレイでつきはなしにかかる。その後、リントツ#19中野の3ポイントで応戦する。立て続けに#19中野のバスケットカウントで必死に追い上げるも、26-21で九州電力がリードして終了する。

3P: 開始早々、ゴール下のポジション取りからお互いファウルが重なる。それでもリントツ#19中野と#55三島の連続シュートから得点を伸ばす。一方、九州電力はシュートを打つもののなかなか決まらず、次第にリントツのペースへと試合の流れが変わっていく。そして、リントツ#33八木橋のターンシュートで追いつき、九州電力はたまたまタイムアウトをとる。それでもリントツの勢いが止まらず、#32松元の3ポイントで突き放す。その後モ constantsに点数を重ね、最後はリントツの#55三島のブザービートが決まり、45-37でリントツがリードして終わる。

4P: 九州電力は、激しいディフェンスから#91酒井の得点でスタート。リントツは、攻めあぐみ得点が入らない時間が続く。追いつきたい九州電力もシュートを放つが決まらず、膠着状態が続く。リントツ#55三島と#56戸次のオフェンスリバウンドからの得点で徐々にリントツのペースで試合が動き始める。九州電力は#21毛利にボールを集め、起点を作るが、決定力に欠け、なかなか追いつけない。その後も3ポイントで追いつこうとするもシュートが決まらず、45-54でそのままリントツが逃げ切り、初出場初優勝を遂げた。